

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(令和4年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間 (4月～3月)

施設名	秋川溪谷 瀬音の湯	指定管理者	新四季創造株式会社
指定期間	令和2年4月1日から 令和7年3月31日まで	担当課	観光まちづくり推進課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	361	181	50.1%	
	延べ利用者数 (人)	360,059	196,915	54.7%	
	事業開催 回数	必須事業 (回)			%
		自主事業 (回)			%
収支状況	収入	指定管理料 (円)		%	
		利用料金収入(売上) (円)	290,019,000	161,980,426	55.9%
		自主事業収入 (円)			%
		その他の収入 (円)		3,519,377	%
	収入計 (円) …①		290,019,000	165,499,803	57.1%
	支出	人件費 (円)	162,257,000	88,416,334	54.5%
		維持管理経費 (円)	116,914,000	57,046,441	48.8%
		自主事業関係経費 (円)			%
		その他の支出 (円)	75,767,000	44,933,059	59.3%
	支出計 (円) …②		354,938,000	190,395,834	53.6%
	収支 (①-②) (円) …③		△64,919,000	△24,896,031	-
	諸経費 (本社運営費など) …④				%
総収支 (③-④) (円)		△64,919,000	△24,896,031	-	

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

<p>【開館日数・利用者数について】 開館日数：181日 休館日：2日 臨時休館日：なし 利用者：196,915人 (前年比：74,206人増)</p>	<p>【事業の実施状況について】 新型コロナの感染拡大防止の観点から、4月1日から7月15日まで時間短縮営業を行った。</p>	<p>【収支状況について】 営業日数が増加したことから、前年と比較して大幅な増収となった(62,724千円増)が、営業日数の増加に伴い光熱水費等の変動費及び人件費等も増加したことから、総収支は△24,896千円となった。</p>
--	---	--

所管課の評価 (指摘事項)

<p>【開館日数・利用者数について】 新型コロナの感染拡大防止の観点から4月1日から7月15日まで時間短縮営業を行った。 開館日数は、前年度上半期から55日間増加したこともあり、利用者が前年比160.5%の196,915人となった。</p>	<p>【事業の実施状況について】 徹底した新型コロナの感染拡大防止対策を講じて営業を行った。 レストラン事業や直売事業で新商品の開発・販売を行うことで、利用者のサービス向上に努めた。</p>	<p>【収支状況について】 上半期の総収支は、△24,896千円と前年度と比較して減益となっているが、前年度は、市の休業補助金や東京都の時短協力金と等の雑収があったことが要因あり、営業利益については増益している。</p>
---	--	--

2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	75人 人員配置計画、実地、出勤簿	70人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	3回/年 研修マニュアル	実施回数2回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者、地域住民の雇用促進に努めている	40.0% 人員配置計画	65.7% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守やハラスメント対策など、労働環境への適切な配慮がなされている	実地、出勤簿、就業規則等	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）

昨年度に引き続き、新型コロナの感染拡大防止対策として、利用者への駐車場や脱衣所ロッカーの利用制限、入館時におけるアルコール消毒と検温の徹底及び従業員による施設内の定期的なアルコール消毒やこまめな清掃を行うことで、利用者が安心して利用できる施設の運営に努めた。今後も感染拡大防止対策を徹底し、安心安全な施設運営に努めていく。

〈各事業における新しい取組等〉

- ①温泉事業：7月16日から時間短縮営業を解除し、営業時間をコロナ禍前の午後10時までに戻したことで宿泊利用者をはじめとした様々な利用者のニーズに応えることができた。
- ②レストラン事業：7月16日から時間短縮営業を解除し、営業時間をコロナ禍前の午後8時30分までに戻したことで様々な利用者のニーズに応えることができた。また、8月にはメニューを刷新し、地元食材を使用した商品の提供に力を入れた。
- ③宿泊事業：昨年度から引き続き「ルームサービス特別弁当」を販売し、コテージで夕食が取れるようにしている。利用者からの評判も良く、サービスの向上に寄与している。
- ④直売事業：地元生産者や地域企業及びあきる野市の友好姉妹都市である大島町との連携を強化し、新たな商品の入荷につなげた。

所管課による所見（指摘事項など）

新型コロナの感染拡大防止対策を徹底した上で施設の運営に努めた中で、7月16日からは時間短縮営業を解除し、営業を行った。

世界情勢の影響による物価高騰のため、支出が増加し、収支では営業損失が出ているが、利用者数は前年比160.5%増とコロナ禍前の水準に戻りつつある。レストラン事業における新メニューの開発や直売事業での新商品販売など収支改善に向けて積極的に取り組んでいることは評価できる。商品の供給が不安定なことが課題ではあるが、引き続き健全な経営を目指してもらいたい。